

# 学校運営協議会だより

文責 CS事務局

## 回覧

学校運営協議会だよりでは、他市町村学校運営協議会の特色ある実践例を紹介してきました。No. 16では、「SDGs」に取り組む東京都の学校運営協議会の実践例と京極町学校運営協議会の「SDGs」の取組も紹介したいと思います。また、裏面には道教委の令和6年度部活動調査結果を掲載しました。

### SDGsとは

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、2015年に国際サミットで採択された2030年までの国際目標。17の目標から構成され、地球上の「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境における様々な課題を、みんなで解決するもの。

### 東京都豊島区コミュニティ・スクールの取組

SDGs	学校を拠点としたSDGsに寄与した事業
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ISS 活動※ 1 による安全・安心な学校づくり</li> </ul>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な PDCA サイクル実現</li> </ul>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>11 住み続けられる町づくりを</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来の地域の担い手の育成</li> <li>・ 地域の活性化</li> </ul>
 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校、保護者、地域関係者の協働による活動の推進</li> </ul>

### 京極町 CS の取組(豊島区実践と対比)

3. すべての人に健康と福祉を



※ 2 裏面にて紹介します

4. 質の高い教育の実現



京極町 CS の学校支援ボランティアの学校への派遣

11. 住み続けられる町づくり



京極町 CS の中学校職場体験学習への支援

17. パートナリシップで目標を達成しよう



京極町 CS の熟議による目標の確認と共有

### ■東京都豊島区コミュニティ・スクール推進ガイドライン(令和3年)より

東京都豊島区学校運営協議会は、学校と保護者・地域住民等の協働による活動、将来の担い手の育成、地域活性化などSDGs達成に寄与することができる事業を展開しています。

京極町学校運営協議会でも、SDGsに関連した取組を数多く推進しています。

※1 ISS → インターナショナルスクール(ISS)とは、より安全な教育環境づくりに取り組む学校に与えられる国際認証。

SDGs「すべての人に健康と福祉を」に関わる京極町学校運営協議会の取組

取組1

養護老人ホーム慶和園  
中学生職場訪問



取組2

社会福祉協議会  
中学生職場訪問



取組3

ラジオ体操  
(教育委員会主催事業)



取組1・2 中学生の職場体験においては、養護老人ホーム慶和園・社会福祉協議会を訪問先として紹介しています。職場体験を通して、中学生が福祉の大切さを学ぶ機会としています。

取組3 教育が主催するラジオ体操。地域みなさんに協力をいただき実施しています。

〔誰一人取り残さない社会の実現のために〕

今後も学校運営協議会は、社会福祉協議会等の関係機関・地域と連携して、「すべての人に健康と福祉」に関わる取組を進めていくことが大切だと考えます。

## news!

### 〔ニュース1〕 道教委 R6 年度部活動調査結果

※北海道通信より

### 〔ニュース2〕 道中体連 R9 年度以降全道大会

※北海道新聞より

〔ニュース1〕 道教委は、令和6年度部活動に係る調査結果をまとめた。(札幌市を除く、公立中学校・高校・特別支援学校における昨年12月1日現在の状況を調査したもの)拠点校方式で部活動をしている市町村・拠点校数は38市町村405校、前年度より24市町村372校と増加した。部活動の地域移行に向けた段階的な体制整備の一つとして着手した市町村・学校が多く、今後もさらなる増加が予想される。部活動数は、中学校が2931部、高校全日制が3435部、定時制が154部、特別支援学校中学校が16部、高等部が126部の合計6662部。2年度と比較すると621部の8.5%が減少している。

〔ニュース2〕 道中体連は、R9年度以降の道中学校体育大会の方向性を公表した。(7月) 全国大会が中止される8競技(水泳、ハンドボール、体操競技、新体操、相撲、スキー、スケート、アイスホッケー)に関しては、これに関係する8競技団体のすべてが代替大会を実施する方向で調整していることがわかった。スキーについては開催地の契約上、R11年度まで全中大会で開催することが決定しており、全道大会もこれに準じて開催する。

※写真は表敬訪問の様子です。

今年も中体連後志地区大会・小樽市との代表決定戦を勝ち抜き、全道大会への切符をみごと手にした、野球・水泳・陸上の選手が京極町役場を表敬訪問をしました。(7月16日)

子ども達の活躍を地域全体で応援しましょう。

中学校部活動の地域移行が進んでいます。北海道内の他地域の中学校部活動の地域移行の様子も今後紹介していきたいと思います。

